



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 24 年 10 月 6 日(土)～10 月 20 日(土) まちなか美術展 編

第 4 回「まちなか美術展」が 10 月 6 日～10 月 20 日(上町は 11 月 6 日)まで上町・中央商店会、西大通り商店会、柳町女性会の協働で開催されました。まち灯りを通じて知り合った三つの会が、各地域とつながりの深い子ども達の絵を協力店のウィンドウや店内に展示して、絵と共に商店街のまち歩きを楽しんでもらおうというものなんです。

今回は種苗交換会が能代で開催されることもあり、木都能代らしさをアピールしようと、木目が美しい杉の単板に子ども達に絵を描いてもらうことになりました。

これは、能代の庄内鉄工さんの優れた技術による、薄い紙のようにスライスした単板で、美術展のために枚数をそろえて協力してくださいました。各商店会も回を重ねるごとに協力店が増えたり、割引などのサービスがあったり、オープンカフェや展示のしかたも上手になりました。

さらに、西大通り商店会では初めての企画「100 縁(えん)商店街！」を開催。たくさんの人々が商店街を歩いてくれました。メディアの協力もあって北羽、魁、読売新聞やNHKのニュースにも取り上げられるなど、まちなか美術展を盛り上げてもらいました。

地域の子どもの絵を地域の商店街で、というのは子ども達やその家族にも大変喜ばれ、商店街にとっても、これからの顧客になる若い世代へのPRになるのです。もちろん、そのためにサービスや接客など、また来てもらうための工夫もかせません。

子どもの絵というのは人を和ませ思わず笑顔になる力があります。今回、杉の単板という木に絵を描いてもらったのですが、先生によると、この木に描くことを子ども達がとても喜んだそうです。木のぬくもりと共に、その楽しい気持ちが見る人に伝わるんですよ。なので、「まちなか美術展を楽しみにしています」と言う人も多く、私たちの励みとなっています。



ほっとステーションは能代工業高校生のユニークな作品などで雰囲気一転。



スギの薄い板に書いてもらうという初の試みは大成功！夜のライトアップでは、また違った味わいに。



NHK 能代報道室の取材もありました。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

4 回を通じて、三つの商店街が協働で開催できるということ、各商店街それぞれの工夫が見られること、地域と学校のつながりができるということは、まちづくりにとってとても大切なことと思います。次に向けて、なおいっそうの工夫を考えていきたいですね。たくさんのご協力ありがとうございました！

文：平山 はるみ

第4回まちなか美術展 西大通り編

「第4回まちなか美術展」は、上町・中央商店会、西大通り商店会、柳町女性会で合同開催することができました。

西大通り商店会では、一中の生徒さん、そしてまつばら保育園に、つばめの森保育園のかわいい作品も加わって絵の輪が広がっていきました。また、今年は木都のしろの初企画として、天然秋田杉シートをキャンバスに、子供たちがのび～のび～と絵を描いてくれました。まさに、上へ上へと伸びゆく秋田杉と未来を担う子供たちとのコラボレーションでした。同じ年輪の型がひとつとなるように、子供たちの作品も、同じ物を見つめながら感じる心や表現がひとりひとり異なる世界に地球にかけがえのない「ひとつの作品」となりました。

今回、初めて参加して下さったイラストレーターの青柳頭子さんも、秋の風景とかわいいねこちゃんのイラストで、店頭を明るく盛り上げて下さいました。そして更に、西大通り商店会では最終日に「第一回 100 縁(えん)商店街」を企画、開催いたしました。

すべてが初めてのことでしたが、中和大通り商店会の方々の熱い協力と、アドバイスのもとに10月20日に、中和100円商店会と西大通り100縁(えん)商店街と同時開催することができました。今後、さらなるすばらしい縁(えん)をつなげて、第5回美術展が、来年みなさんの心に感動の輪をお伝え出来ますように。私たち商店会のひとりひとりが楽しみながら、信じながら歩いて行くつもりです。

本当に、ありがとうございます。

文：西大通り商店会 安岡 里江



作品を見に家族連れや子どもたちが商店街に来てくれると、楽しそうな通りの風景に変わります。



西大通商店街のタイアップ企画。それぞれが協力しながら楽しく続けると良いですね。



作品の展示にも、それぞれのお店の個性が感じられます。